

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6 年 3 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人社団あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム金泉		
所在地	東広島市安芸津町三津4333-1 (電話) 0846-46-1080		
自己評価作成日	令和6年1月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3472501562-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3472501562-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年3月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・個人の尊厳として、日中、できる限り布パンツ又はプラスパットで過ごして頂く。</li><li>・毎日全員入浴を心掛け、各人ごとに湯を入れ替える。そのため、個人の好きな入り方ができ、くつろげる。</li><li>・おやつは手作りをしている。</li><li>・トイレ誘導を個々の排泄パターンに合わせて行い、トイレでの排泄を促している。</li></ul>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は利用者一人ひとりのプライド・習慣・拘り等を尊重し「個人の尊厳」に力を入れ、「個々に応じた入浴支援・排泄の自立支援」など職員間で具体的には話し合いながら実践している。立ち上がりや移乗が困難な場合、サポート出来る介護機器をフロア毎に近年、導入し可能となっており、利用者の生活の質向上にも繋げている。運営推進会議は多方面からの情報提供や提案・意見交換などが活発に行われており、質問に対しても事業所は感染症の時勢に合わせた返答や対応を行い、また「前回からの継続課題」を挙げて課題が途切れない工夫をしている。昔、造り酒屋として地域に親しまれた広場に位置する事業所であり、職員は地域への感謝と地域貢献の気持ちから、定期的に駅トレイ掃除・地域清掃等続け、他の団体と共に認知症になっても住み続けられる町作り等の活動を続けている。
--

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念が見える所に掲示し、できるだけ笑顔で利用者に関わる様に務めている。	設立当時に職員が話し合って事業所の介護理念を定めている。管理者は日頃の業務や対応で気になる事がある場合、理念に照らし合わせて個人面談時や適宜、職員に助言や指導をしている。介護理念は、玄関や各ユニットなど見え易い場所に掲示して共有し、実践に取り組んでいる。	介護理念を（又は作成されている年度毎の事業計画を共有し）掘り下げて各職員が個人目標と具体的行動を掲げ、定期的に管理者と共に振り返る事を期待します。事業所理念（と事業計画）を皆で共有し個々のステップアップに繋げながら職員全員で理念（事業計画）の実践に取り組むよう期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナなど感染症の流行により現在も制限がある中ではあるが、地域の清掃活動や地域の会合などに参加している。	コロナ禍以前に開催していた「きんせん祭」は近隣から惜しまれながら中止となったが、餅つき後の餅を配布するなど地域とつながりを続けている。地域への感謝として、職員による月1回の地域清掃・地域の敬老会の手伝い・週1回の駅トイレ掃除などを継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を定期的開催し、地域の方にも参加して頂き、地域の皆様の理解と協力を得ている。安芸津おれんじ会に参加し、地域へ認知症の理解など深めるための活動をしている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の議事録を開示し、入居者・ご家族に通知している。ヒヤリハットの提出がどれだけあるかなど問われることもあるため、事故を未然に防ぐためにも職員へ提出を促している。	会議には家族・自治会長・民生委員・区長・地域包括支援センターなど多方面からの出席があり、情報提供、質問、意見、情報交換、助言など活発に行われている。参加者の意見から、多数のヒヤリハットを共有する重要性を改めて再認識し実践に繋がった例がある。	有意義な運営推進会議が行われており、議事録は「前回からの継続課題」を挙げ、事業所の活動や出席者の意見などが分かり易くまとめている。現在、議事録は事業所玄関に掲示し、出席家族のみの配布となっているが、全家族に配布し、事業所の取り組み等を全家族と共有される事を期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	安芸津おれんじ会や運営推進会議など参加することにより、なじみの関係づくりから連携へ移行し、互いの理解協力に努めている。	地域包括支援センターが多職種を取りまとめた「安芸津おれんじ会」の構成員となっており、認知症の普及啓発活動を行い、管理者は認知症アドバイザーとして小学校に出向く事もある。書類提出時は正しい情報を介護課に確認する等、行政との協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会にて会議を毎月1回開催し、現場における身体拘束はないかなど話し合いを行っている。また、入り口前などにセンサーを設置し、日中は施錠せずに対応している。	毎月、身体拘束委員会を開催し、とっさの口調など日頃の気付きを丁寧に挙げて共有し、心身を抑制しない対応を具体的に話し合っている。身体拘束委員会は同法人の介護事業所と合同で行い、新たな視点を獲得する事もあり、管理者を中心に身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修を開催して学んでおり、虐待防止に取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内研修を開催して学んでいる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時説明をし、意見を伺い、話し合いをし、理解納得をして頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族面会時、近況報告をさせていただく中で、また、入居者は生活を共にしている中で意見要望を伺い、理解納得して頂いている。	家族に毎月、写真と手紙を郵送し、隔月に事業所便り「きんせん」を郵送し近況報告を行っている。面会時や運営推進会議にて意見を聞き、気持ちに沿って対応している。利用者から、食事の汁物に関して意見があり、利用者アンケートを行い検討後に対応した例がある。	

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面接を年2回実施し、職員の意見や思いを聞くようにしている。毎月1回代表者会議を行っている。グループホーム会議では業務改善なども意見を出し合い、検討している。	定期的な面会時だけでなく、管理者はその都度、声かけを行う等、配慮している。グループホーム会議で、見守りに影響が出ない昼休憩の取り方に関して意見を出し合い、改善に繋げている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の面接の中で、職員本人の仕事に対するモチベーションや目標等を確認し、反映している。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内・外部研修への参加、報告、全体研修を年6回開催し、自己研鑽に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安芸津おれんじ会などに参加し、ネットワークを広げる努力をしている。また外部研修に参加し横のつながりも見つけるように努力している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個別に関わる機会を設け、傾聴し、ご本人の気持ちや思いを聴くよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居される前も「わからないことがあったらいつでも連絡ください。」と準備物や不安な事に対して安心していただくために対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居時も再度不安なことなど確認しながら、入居後は家族様へ生活の情報をお伝えしている。必要とされる支援がある時には、柔軟に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の思いや主体性を大切に关わるよう傾聴などに努めている。表情や声を豊かに本人の思いに寄り添っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	時には会話に息子様や娘様の名前を出し、回想したりしながら家族を忘れないように関りを持っている。また電話や毎月家族様に職員が手紙を書く中に、本人にも書いていただいたりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの物や、病院や美容院など、希望に応じて継続している。	面会制限中であり、相談室で親族と30分間の面会が出来るよう支援し、家族と共に利用者が希望の塗り絵を楽しむ事もある。利用者は造り酒屋の広場で遊んだ事や通学路の話を職員に伝えて昔を懐かしみ、また、訪問理美容のスタッフと顔馴染みとなる等、馴染みの関係を支援している。	

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	良い関係が保てるよう、席替えをしたり、職員が間に入ったりしながら行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談に合った時など、支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居の折に、家での生活スケジュールやスタイル等を確認し、できる範囲で、本人の思いに対応するよう努めている。	利用開始前の生活習慣や好みなどを本人・家族から聴き、介護アプリに入力し職員間で共有し把握している。利用開始後も把握が難しい場合は、家族から情報を得たり、本人本位に検討をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントを行っている。入居の折に、家での生活スケジュールやスタイル等を確認し、できる範囲で努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の生活記録を記録し、特変には報告やケア対応している。特記なども注意深く記録することに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>関係者と話し合い、できるだけ本人と家族の思いを把握し、作成に努めている。</p>	<p>職員・医療関係者等からの情報や本人・家族の意向をもとに関係者が話し合い介護計画を作成している。計画作成者は、身体状況の維持と本人が出来る事を大切にして、計画書を作成している。具体的なケアの実施は職員が毎日チェックし半年毎にモニタリングを行い見直しをしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護計画に毎日のチェック表を記入している。その中で変化したものなどは記入をするよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者の状態の変化などにより、変化が継続する場合は、柔軟に対応している。また、散歩に出かけたり、トレーニングマシンを使用して運動する等支援に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源の把握に努め、個人の状態に応じた、安心安全な暮らしができる様、努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時、今までの主治医を希望される方などは、継続して通院してもらっている。また入居の折、緊急時はどこが希望か、どの地域が希望かなども確認し、できる範囲で対応している。</p>	<p>契約時に本人・利用者がかかりつけ医を選択し、通院は家族が付き添えるよう車椅子対応の車両を貸し出す等、配慮している。予め家族から急変時の搬送先を聞いて要望に沿っている。協力医療機関からの訪問診療時には必ず管理者が同行し、医師からの指示を適切にケアに繋げている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	必要時は協力を得ている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は互いに情報提供を行っている。入院時もこまめに状態確認など把握に努め、病院関係者との関係作りも心がけている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早い段階で、ご家族・主治医・職員と話し合い、どこまで看ることができかなど確認し合い、支援できる様努めている。	重度化や終末期に向けた方針を、契約時や適宜、本人・家族に口頭で伝え、医療関係者とチームで看取り対応をしている。今後は、医師の意見や家族の要望を聞きながら、状況にあった医療機関に繋げる支援を行う予定であり、契約時に文書で伝える予定である。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を定期的に開催し、地域の方に参加を呼び掛けている。	避難訓練は敷地内の同法人介護事業所と合同で行い、夜間想定も含めて応援体制や緊急連絡の確認などを行っている。利用者も一次避難所までの避難訓練に参加している。地域との良い関係性を活かし、有事の際の地域との協力体制に向けて、運営推進会議で議題にするよう検討中である。	



自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であることを念頭に置きケアに当たっている。人格、プライバシー等に配慮した対応に努めている。	常に「個人の尊厳」をもとに、排泄や入浴の介護方針を掲げ、個々の人格・プライド・習慣など尊重したケアに取り組んでいる。職員は人生の先輩としての話を聴く機会もあり「いい人生だったよ。有難う」等の思いをゆっくり丁寧に受け止めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	選択肢を持たせるなど工夫しながら、自己決定できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者のペースを尊重している。その時の気分や体調など日々違うため、訴えを見逃さないよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には気温や気分などにより衣類などを選んでもらったり、確認してもらったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	包丁が持てる人、盛り付けができる人、おしぼりを準備する人、お茶を汲む人、テーブルを拭く人など、それぞれその時の状況に応じ声掛けを行い、出来る事を職員と一緒にしている。	調理された配食サービスを利用し、職員が個々に合わせた食事形態にしている。利用者は職員と共に皿に盛り付けたり、エプロンをつけて大根・くわいの皮むきやおせち料理の味見をし、また、蒸しパン等のおやつ作りを楽しみながら、持てる力を発揮出来るよう食支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分を飲みたがらない人なども飲み物を工夫したり、声掛けを行ったり、職員全員で協力している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>入居者の状態に合わせて口腔ケアを行っている。また口腔内の状態も確認している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>基本はトイレは排泄をするところ，パット交換をするところではない。布パンツを基本にして日中を過ごしている。そのため介助を必要とする入居者は，トイレの頻度は多い。重度になってもトイレを利用しての排泄を行っている。</p>	<p>排泄パターンと利用者の様子を観察し，適切に声かけを行い失敗やパット・オムツの使用量を減らしている。日中は布パンツで過ごし，また重度になってもトイレでの排泄を基本とするケアが行われている。立ち上がり・移乗をサポートする介護機器を導入し排泄の自立支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>本人のこのみの牛乳など買ったり，サツマイモを買ってみたりし，排泄がスムーズにいきやすいかなど工夫もするが，薬も併用することが多い。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望に沿うようには対応している。本人の入りたい入り方ができるように，一人ひとりに湯を張り替え，掃除も行っている。</p>	<p>2日に1回を目安とし，利用者が望んだ日に入浴できる体制となっている。浴槽の湯は一人ひとり替え，利用者の入浴動作の習慣をこれまで通り続けられるよう個々を尊重した入浴の支援に取り組んでいる。身体状況によりリフト浴で浴槽に浸かり，時には小窓から景色を楽しむ事もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中眠気が強い時など、本人の希望に応じて休んでいただいたり、夜も希望に応じて、テレビ鑑賞したりしながら、入居者が眠りたい状況に合わせて入眠を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者の薬や効能等、把握するために職員が日々交代で配薬準備を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴や趣味などに応じ、その人らしい生き方に沿えるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	制限がない時は、希望に応じて、散歩や買い物、ドライブ等対応に努めている。コロナ、インフルエンザの流行等で施設自体が制限がかかることが多く、一般の方のように外出できていない。	感染状況に合わせ、以前、行っていた散歩や買い物などは自粛している。洗濯物の取り込みや草抜き、陽当たりの良いサンルームやフリースペースで飲茶する等、外気に触れる機会を工夫している。墓参りや外食など家族協力による外出がスムーズに実現するよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	制限がない時は、自分の希望の買い物などは、入居者に支払いをしてもらったりしている。コロナ、インフルエンザの流行等で施設自体が制限がかかることが多く、一般の方のように外出できていない。		

自己評価	外部評価	項目( きんせん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族の協力を得て、本人が希望したときは電話をしている。また荷物が届いたときなどはお礼の電話を入居者にかけてもらっている。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花や飾りなどを工夫し、季節を感じてもらったり、清潔保持に努めている。</p>	<p>フロアに台所があり、利用者は炊飯・調理の気配を感じながら会話し、ソファで洗濯物を畳み、皆でラジオ体操や唱歌をロザさむ等「私の席」で穏やかに過ごせるよう支援している。職員は夜間に清掃し、季節が感じられる身近な花を飾る等、清潔で居心地の良い環境作りに努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファや堀こたつ等、自由に共有できる空間づくりをしている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>最近安くて軽い筆筒などを持参される方が多いが、基本は入居者好みに合わせ、衣類や配置、必要物品を準備していただき、落ち着いて過ごせるように工夫している。</p>	<p>使い慣れたタンス・収納ボックス・テレビなどを設置し、大切なアルバム・湯飲み茶碗・ぬいぐるみや化粧水などを持ち込み、時には職員と共に室内の片付けや掃除を行うなど、その人らしく過ごせるよう支援している。家族の意見と転倒予防などに配慮してベット・家具を配置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>モニタリング等で、一人ひとり「できること」「わかること」の把握に努めている。それぞれが出来ることを一緒に行っている。</p>	/	

V アウトカム項目( きんせん ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念が見える所に書き(貼り)できるだけ笑顔で利用者に関わる様に務めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の清掃活動に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を定期的開催し、地域の方に参加して頂き、地域の皆様の理解と協力を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の議事録を開示し、入居者・ご家族に通知している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括会議に出席して連携づくりをし、行政からの正しい情報収集に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入り口前などにセンサーを設置し、日中は施錠せずに対応している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修を開催して学んでおり、虐待防止に取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内研修を開催して学んでいる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時説明をし、意見を伺い、話し合いをし、理解納得をして頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族面会時、近況報告をさせていただく中で、意見要望を伺い、理解納得して頂いている。		



自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面接を年2回実施し、職員の意見や思いを聞くようにしている。毎月1回代表者会議を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の面接の中で、職員本人の仕事に対するモチベーションや目標等を確認し、反映している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内・外部研修への参加、報告、全体研修を年6回開催し、自己研鑽に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修への参加などを行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個別に関わる機会を設け、傾聴し、ご本人の気持ちや思いを聴くよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居されてからしばらくは、情報を得るために時間を費やしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要とされる支援がある時には、柔軟に対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の思いや主体性を大切に関わる様、努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の思いも大切に対応している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>不十分ではあるが、馴染みの物や、病院や美容院など、希望に応じて継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	良い関係が保てるよう、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談に合った時など、支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できる範囲で、本人の思いに対応するよう、努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の生活記録を記入し、現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b>  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	不十分ではあるが、できるだけ本人と家族の思いを把握した上で、関係者と話し合い、作成に努めている。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b>  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画にたいしての日々の記録はできていない。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b>  本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	不十分ではあるが、散歩に出かけたり、トレーニングマシンを使用して運動する等、柔軟な支援に努めている。		
29		<b>○地域資源との協働</b>  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源の把握に努め、個人の状態に応じた、安心安全な暮らしができる様、努めている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b>  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	努めている。		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	必要時は協力を得ている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供を行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早い段階で、ご家族・主治医・職員と話し合い、支援できる様努めている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を定期的で開催し、地域の方に参加を呼び掛けている。		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーに配慮した対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定できるよう、声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の希望に、できるだけ対応できるよう、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみは、気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る事を行って頂きながら、職員と一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>気を付けているが，不十分。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>本人に応じて対応している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>薬に頼っている部分が多い。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望に応じて行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	努めている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	努めている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	不十分であるが、本人の好まれる活動を行えるよう、努めている。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に応じて、対応に努めている。		
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	不十分ではあるが、買い物等行える人には行って頂いている。		



自己評価	外部評価	項目( あんず )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族の協力を得て行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>清潔保持に努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファや堀こたつ等、自由に共有できる空間づくりをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>持参して頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>モニタリング等で、一人ひとり「できること」「わかること」の把握に努めている。片付け・ゴミ捨て・掃除等は、一緒に行っている。</p>		

V アウトカム項目( あんず ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム金泉

作成日 令和6年4月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	介護理念を掘り下げるなどして十分に活かしてききれていない。	介護理念をPDCAサイクルで実施することでスキルアップする。	介護理念を基に各職員の目標を掲げ、達成するための具体策などを掲げ、定期的に振り返りや課題を見つけるために面接を実施する。	1年
2	4	運営推進会議録が家族様全員に配布できていない。	運営推進会議を家族様全員に配布する。	2か月に1回送付する。	2ヶ月
3	35	避難訓練などの近隣住民の応援体制では実施できていない。	避難訓練や非常時などの近隣住民の応援がある。	避難訓練や非常時などの近隣住民の応援の方法を明確にする。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。